

市長	副市長	教育長	教育次長	課長	館長	課長補佐	係長	記録

【所属名：教育委員会文化振興課（博物館）】
【会議名：糸魚川市博物館協議会 運営部会】

開示
一部開示 (理由:条例第 条第 号 該当)
不開示
時限不開示 (開示: 年 月 日)

会 議 録

作成日 平成 25 年 11 月 1 日

日	平成 25 年 10 月 23 日	時間	13:30 ~ 15:14	場所	フォッサマグナミュージアム ホール
件名	議題(1) 入館者、事業等の状況について (公開) 議題(2) ショップ販売状況について (公開) 議題(3) リニューアルについて (公開)				
出席者	【出席者】 5人 運営部会 片山会長 伊藤委員 岩崎委員 大西委員 中村委員 【欠席者】 1人 運営部会 小野委員 【事務局】 6人 博物館 田村館長 宮島参事(館長補佐) 竹之内館長補佐(学芸係長) 山本係長(業務係長) 茨木主査 山崎主任主事				
	傍聴者定員		人	傍聴者数	0人

会議要旨

1 開会(13:30) 【事務局】 館長あいさつ 【会長】 会長あいさつ 2 議題 (1) 入館者、事業等の状況について 【事務局】 資料に沿って説明。 (2) ショップ販売状況について 【事務局】 資料に沿って説明。 質疑 【会長】 ショップの売上の対前年比はどうか。 【事務局】 昨年と同時期とほぼ同額である。 【委員】 クラシックカーミーティング(以下 CCM)は毎年 5 月 3 日の実施か。いつも成人式と重なって出られない。 【事務局】 そうである。クラシックカーレビュー(以下 CCR)は今年で 22 回目。
--

【事務局】クラシックカーレビューが大規模になりすぎたので、気軽に見ていただくという趣旨で CCM を始めた。

【委員】学校関係団体の利用について、数年前の学習指導要領の改訂の時に、野外へ出る授業が全国的に激減したが、こちらはどうか。

【事務局】資料 4 ページにあるように、市外の学校はほとんどがリピーターであり、例年並みである。

【事務局】部活動での利用が目立つ。名だたる進学校が利用している。

【事務局】大学は資料に入れていないので、入れるともっとある。

【委員】学校での利用は入館者にカウントされているのか。減免になる団体とならない団体があるのか。

【事務局】基本的に市内の小学校中学校は減免になる。申請書を出していただいて、減免になる。市外の小・中・高校については減免の規定が無いが、団体等で 20 名につき 1 名の減免になる。

【事務局】市外でも特別支援学校は減免の対象となる。他に、教育委員会が特に認めた場合、という条項があり、特別な理由があり減免にすることが妥当であれば、市外の学校でも減免になる。

【委員】聖学院は該当するか。

【事務局】減免にならない。市として全体で対応している。ビーチホールまがたまで学芸員が説明をしている。また、開館当初に、障害を持った方がこの施設を利用する時にどのような問題があるか把握するために無料でお越しいただいたことがある。

【会長】富山県から 2 校来ている。学校行事ではこのあたりから富山方面へたくさん行っているのに、向こうからは来ない。

【事務局】魚津高校は以前来ていたが、最近来ていない。営業に行ったりダイレクトメールを出したりしているが、なかなか来ない。野尻湖ナウマンゾウ博物館へは富山から行っているのか。

【委員】富山からは来ていない。

【会長】能登や立山などへ行っているのであろう。

【委員】授業ではあまり遠くへ出られない。

【事務局】上越方面からは何も来ていない。

【委員】糸魚川中学校は入っていない。

【事務局】11 月 1 日に来ることになっている。

【会長】ここは学習の場であり、ミュージアムを中心に、長者ヶ原遺跡、考古館もあり相乗効果があるので、営業も含めて、お誘いの文書をなるべく渡していただきたい。

【事務局】高校の対応について、文部科学から補助金が出るスーパーサイエンスハイスクール(以下 SSH) に指定された全国の約 200 校全校に、ジオパーク推進室から昨年ダイレクトメールを送った。その成果はまだない。

【事務局】今年来た恵那高校は SSH で来た。

【事務局】高田高校も。

【会長】ショップの販売品について、今年世界ジオパークの再審査があった。4 年前には指摘があったが、今回は問題なかったのか。

【事務局】問題はなかった。

【会 長】在庫はどうなったか。

【事務局】業者に返した。薬石は販売できない。

【事務局】グレーゾーンである。世界ジオパークは、地質資源が無くなることを心配しているので、無くならないことを証明できれば販売できる。

【会 長】薬石はかなり少なくなった気がする。

【委 員】まだたくさんある。

【事務局】3.11の震災以降、インターネット上で、薬石を持っていれば放射線の害から守られるというようなデマが流れている。

【事務局】ショップでお菓子類を販売してはどうかという意見がある。これまではどこからも「菓子類を置かせてほしい」という要望は来ていない。9月の総務文教常任委員会で、議員7名が来館し、「なぜ地元の菓子を売らないのか。少しでも売り上げを上げるために売ってはどうか」との意見が多く出た。これまでミュージアムとしては、市内で買ってもらいたいという方針であった。やれるかやれないかの前にまず検討をしたい。広域の観光協会などと検討したい。

【会 長】ぜひお願いしたい。市外から観光で来てミュージアムだけに寄る人もいる。

【事務局】お孫さんに買って行って「いらない」と言われられないようなものを買いたいというお客さんの声もある。

【会 長】観光協会内に、「物産振興協議会」がある。予算があるが、何も使っていないので問題になっている。このあたりにワンクッションおいてもらって、納めさせるという形にしたらい。ミュージアムから直接各店に話をすると、あの店ばかりという話になる。観光協会に頼んでという形ならできる。きちっと手数料をいただければ収入になる。商品の納入・撤収は責任をもってやってもらう。買い取りはよくない。できると思う。

【事務局】野尻湖ナウマンゾウ博物館はどうか。

【委 員】普段からは置いていない。発掘の時にだけ「ナウ饅頭(なうまんじゅう)」という饅頭を作ってもらって販売しているが、苦労して売っても売上が1~2万にしかならず、夏場のものでもないで、普段からは販売していない。ジオパークに関する菓子はあるのか。

【事務局】イチコという菓子屋で、ジオパークにからめたクッキーのような焼き菓子などを作っている。店に声かけをするのに、一本釣りだと批判も出る。

【事務局】ミュージアムが出来る前から、フォッサマグナという菓子がある。上越教育大の卒業生の実家の菓子屋。他に「山のほまれ」も。口頭での説明ではジオパークにからめた料理のことを紹介している。

【委 員】いろいろとまわってもらうこともジオパークの目的なので、ここで独占してしまうのも問題。

【事務局】ジオパークの大会などにも持って行って売っている。

【委 員】ミュージアムの経営戦略のほか、糸魚川ジオパーク全体での位置付けも考えるべきである。

【会 長】ほかのジオサイトで物を売っているところがない。

【事務局】ジオサイトで、人が常駐しているところがない。

【事務局】弁天岩、親不知、玉ノ木、小滝くらい。

【会 長】糸魚川ではなぜ試食を出さないのか。ミュージアムでやるなら試食を出してほしい。
試食を出すことを条件にしてほしい。試食があればもっと売れる。

【事務局】糸魚川には試食という文化がない。

【事務局】中身さえ見えればまあまあである。

【会 長】(各店から直接ではなく)クッションをおいたほうがいい。

【事務局】観光協会の部署にお願いします。観光協会でもミュージアムでも手数料をいただいて。

【会 長】物産振興協議会だから、手数料はいらぬ。

(3) 博物館リニューアルについて

【事務局】リニューアルに関する資料(資料 No. 1~3)の概略説明

【事務局】資料 No. 2 について概略説明。

質疑

【会 長】「野外休憩コーナー」は屋内か。

【事務局】屋外である。今はテラスになっている。

【委 員】建物の面積はどれくらい増えるのか。

【事務局】増築は研修室のみで、100 平米くらい。

【事務局】資料 No. 2 について詳細説明。

質疑

【会 長】青海自然史の展示物も多く取り入れていただいて、感謝している。専門部会の委員との話し合いは済んでいるのか。

【事務局】18 日におこなった。学術的な指摘をいただいたが、まだ資料には反映させていない。
第 3 展示室は、恐竜時代の資料が少ないので、その分フォッサマグナについて力を入れること、第 6 展示室の仕切りは無いほうがいいこと、など。

【会 長】監視カメラは充実されると思うが、映像は残るのか。たいした額はかからないので、ぜひ録画機能をつけてもらいたい。

【委 員】児童・生徒が廊下でうるさいなどの問題はあるか。

【事務局】よそから来た人から、入館者がラベルをいじらないなどマナーがいいと言われたことがある。

【委 員】展示ケースの高さは、変わらないか。

【事務局】現在でも、ほとんどのケースは子どもの目線を意識してある。第 3 の海岸のヒスイのケースは高いが、予算が限られているので再利用できるものは再利用する方針。展示ケースについても。

【委 員】子どもが乗る踏み台があればいいかもしれないが、大人にとってじゃまになるかもしれない。

【事務局】小学校の中学年くらいの子どもの背伸びしなくても見られるような高さ、現状でもほとんどはそうなっているが、第 3 のヒスイが回転しているケースは高い。

【委 員】子育て世代なので、出かける時はインターネットで「おでかけ 子ども 新潟」で検

索する。学習で来る児童・生徒のために、展示室内にメモをとるために使える石の台があってもいい。

【事務局】資料性もある石で、か。そうでないとデッドスペースになるかもしれない。

【事務局】学校では画板を持ってきている。

【事務局】最近、仙台の科学館に行った時に、展示室のケースのまわりにテーブルがあったが、ほとんど使われていなかった。

【会長】石の楽器はどうなるのか。

【事務局】資料には廊下を書いてあるが、未定。存続してほしいという意見が多い。現状の問題点として、音域が狭い、和音が出せない、叩く加減が調整できない(うるさい)がある。これらを解消して、投影面積(占める場所)を小さくしたい。しかしお金がかかるので、先ほど延べたコスト削減をして、こちらにまわしたい。

【委員】展示室内に座れる椅子は置くのか。

【事務局】現在より増やす。移動距離が現在より1.3倍になる。

【事務局】レクチャーポイントも椅子として使えるようにする。

【委員】ヒスイの展示と第6展示室との壁は開けないほうがいいのではないか。

【事務局】ここが通れないと第6から第1に戻るのがたいへん。

【委員】大きく開かないようにすれば。

【会長】収蔵庫は増えないのか。

【事務局】予算の都合で今回は増えない。先行き不明の2期工事で。

【事務局】青海自然史の展示ケースは、下に収蔵スペースがある。新しく作るケースにも下に収蔵スペースを付けて、収蔵スペースを増やす。

【会長】ミュージアムは車で来る人のための情報発信基地、新幹線の駅にはJRで来る人のための情報発信基地が必要。青海自然史やミュージアムで余った資料を駅に持って行ってミニミュージアムのような形にしたものも含めて、情報発信基地としてほしい。

【事務局】一歩進んで、ミュージアムの展示品を一定期間駅に持って行って展示して、入れ替える。が、セキュリティーの問題がある。

【会長】セキュリティーは付けるので問題ない。

【委員】外国の方も来ると思うが、まず日本の方のことを考えて、小学3~4年生は、プロローグやワンダーランドなどの(配布資料のコーナー名の)言葉がわからない。

【事務局】コーナー名は仮のもので、もっとわかりやすいものを考える。

【委員】第2・第4展示室は、広がりがあって使い勝手がよい。第4展示室の「くらしと自然」は、教科書的な展示にしてしまうとつまらなくなるので、工夫が必要。惹きつけるものとして、ヒスイ、鉱物、フォッサマグナの3つとのことだが、フォッサマグナについて、映像とパネルの他に何で惹きつけるか、具体的にイメージがあるか。

【事務局】フォッサマグナは、手に取って見ることができるものではない、概念的なものである。映像やグラフィックにならざるを得ない。第3のシアターの床と壁面2面のスクリーンで体感的なインパクトを与えたい。他にアイデアはないか。

【委員】展示・パンフレット等で、英語以外に、アジアの言語、ハングル、中国語の表記は。

【事務局】まだ詰めていないが、パネルは、日本語の解説と、英語はダイジェスト程度にする。ヘッドラインには中・韓を入れるかもしれない。あまり煩雑にしたくない。日本語と、せ

めて英語はしっかりと表示したい。

【委員】多言語については、パンフレットを作って配るという手段もある。

【事務局】お金があればWIFIを利用して英語で説明を聞けるようにしてもいい。

【委員】英語は海外の人でも意外と通じない人が多い。

【事務局】これから新幹線が開通するので、客層の変化を予想しながら考えていかないといけない。

【委員】全国的に、中国・韓国の観光客がなかり増えている。先日奈良に行ったらほとんど中国・韓国の人だった。糸魚川に関してはスイスの方が多いか。

【事務局】中国の方が増えると、いい場合とイメージが悪くなる場合がある。

【委員】糸魚川が中国・韓国のかたに受けるか微妙。欧米ほうが合っている気がする。

【事務局】鉱物、化石は欧米の人のほうが好きな人が多い。石の文化なので。

【委員】アジア、台湾の人が多く来ている。京都など表通りではなく裏日本をめぐるツアーがブームになってきている。アジアを重視するのは重要。

【事務局】台湾のかたは、日本に来るようなかたは英語はわかる。中国語の繁体字のものまで作るのはいへん。

【委員】行政の観光の部門と、どこに力を入れるか調整しながら。

【事務局】多言語についてはパンフレットで対応して、パネルやラベルは日英に留めたほうがシンプルでいい。言語をあまり多くすると説明の場所がなくなる。

【委員】コーナー名くらいは多言語にしたほうがいい。

【事務局】中国の人はヒスイが好き。先日香港のテレビ局が来て、糸魚川の海岸で取材した番組を香港で放送した、その影響はないが。ヒスイをもっと押せば、中国人に糸魚川駅で降りてもらえるかもしれない。

【事務局】現状では中国人は日本でヒスイが採れることを知らない人が99%だろう。

【会長】その通り。来てびっくりされる。買い物もされるが、値切る。糸魚川には値切る文化がないので、断ってしまって、売れない。依怙地なと「割引が当たり前」がぶつかってしまう。

【事務局】ミュージアムでは値切りにその場で対応できるのか。

【事務局】できない。

【事務局】鉱物標本を売っていた時は、仕入れ価格がわかっているので、損がないように値引いて売ったことがある。それは世界ジオパークになる以前であり、今の商品ではできない。

【会長】糸魚川でヒスイを商売している方が上手にやっていたらと思う。せっかく団体で来てくれて、ヒスイを買おうとしている人がいるに、値引きが無いから買わない、というのではもったいない。

【委員】第4展示室の中央には座れるのか。

【事務局】まだ詰めていないが、直方体のものを置いて腰かけたり休んだりできるようにと考えている。

【委員】実物にさわれる、参加できる展示はあるのか。

【事務局】第2展示室ではこのあたり、ヒスイの展示と、石灰岩。ヒスイの科学の展示でも。

【事務局】体験的な展示を考えている。他に視覚障害者向けの展示物、点字も必要かと思う。

【委員】視覚障害者は団体であれば特別メニューを組んだほうがいい。

【事務局】一般の見学者にも、展示物をケースから出して触ってもらっている。

【委員】子どもたちはさわりたい。

【事務局】こちらも、さわってもらいたい。このあたりの大きな石はさわれる。ヒスイの重さを体感できるような展示、硬さを体感できるような展示をつくりたい。

【事務局】説明していなかったが、ナウマン博士の展示が第3展示室の東側(昔の位置)に来る。トピック的な展示なので動線上は置かず、こちらに独立して置く。

【事務局】野尻湖ナウマンゾウ博物館のナウマンゾウの化石の写真や映像を借りて。

【委員】ナウマン博士は意外と人気があり、廃れない。時々問合せがあり、軽井沢まで来たことがあるのではないかと調べられた人からも。ここにナウマンの展示があることが重要。

【事務局】東京から修学旅行で来る子どももナウマンゾウ、ナウマン博士は知っている。市立学校では習うのか。

【事務局】研修室のことについてもご意見をいただきたい。

【委員】研修室の収容人数は何人か。

【事務局】80人くらいである。

【会長】部屋の中を半分に仕切れるのか。

【事務局】パーティションは設置しようと考えている。

【事務局】移動式の壁を付けられたらいい。

【委員】研修室が増えると、学校の対応は問題無くできるのか。

【事務局】現状でもほとんどの学校は対応できるが、使っている時に他の団体が来ると対応できない。また、部屋があっても説明できる人員がいなければ対応できない。ジオパークのガイドの方の活用も大事になってくる。

【委員】ケースによってはイベント開催が可能か。

【事務局】可能。

【事務局】コンサートも。

【委員】飲食は可能か。

【事務局】可能。研修室で火を使うことは難しい。電気コンロは可。当初研修室で火を使うような実験をすることを検討したが、市長はそこまで考えていない。市長は研修をかなり重要視している。博物館により長く滞在してもらい、より多くのことを学んでほしい、そのための施設であるとのこと。

【会長】ドリンクコーナーはあの場所(現在の設置場所)がベストなのか。

【事務局】ジオパーク情報センターに新設する。既存のものも残す。

【委員】ジオパーク情報センターは椅子があるのか。

【事務局】ここはテーブルと椅子が並べられている。

【事務局】ホテルのラウンジのよう。

【会長】特別展は研修室で開催するのか。

【事務局】ケースバイケースである。新しい研修室を使うのが本来のやりかただが、光を嫌わない展示品であればジオパーク情報コーナー(現在のふるさと展示室)でもできる。同時に2つの企画展を開くこともできる。国宝や重要文化財級のものを借りてきて展示することは現状の構造ではできない。具体的には出雲大社の勾玉。今後そのような展示に耐えうる特別展示室を増築して対応したい。諦めているわけではないが現状では無理。

【会 長】三内丸山・出雲などから出土した糸魚川産のヒスイの特別展をやれるといい。

【事務局】以前来た九州の宇木汲田（うきくんでん）遺跡の勾玉は評判がよかった。市長の考えでは、特別展専用のスペースは電気室の隣に、との意見。入口にあると良くないとのこと。いつできるかわからない。

石の庭については、手つかず。展示替えの予算をうまくやりくりして、少しリニューアルしたい。どんな方向がいいかはこれからの課題。展示にふさわしいようにグレードアップしたい。現状では水琴窟と日時計、利用度が高くない。これまでにコンサートを何回か実施したが、音がよく響く。オカリナやマリンバのコンサートを実施した。

【事務局】お茶会をやったこともある。

【委 員】展示の工事費はだいたいどれくらいか。

【事務局】リニューアルの総予算が6億円前後、展示工事費は半分を越えるくらい。

【委 員】工期は実質1年か。

【事務局】展示の工事は半年。

【委 員】工事が始まるまでがたいへん。

【事務局】展示品の移転がものすごくたいへんである。まず空にしないといけない。工事中の保管場所は青海自然史博物館。ほとんどのものを持っていくが、全部持っていく必要はない。こちらにも少しは保管できる。大半を持っていく。青海自然史に収蔵してあるものをリニューアル後にミュージアムに持って来るともある。直営で。

3 その他

【委 員】要望として、来年度の協議会の資料は、入館状況を、総数ではなく、学校団体、大人子供等、中身の変化についての情報を入れていただきたい。その情報から、対策を立てられる。

【事務局】専門部会でも、海外の人が何人来ているのかという質問が出た。具体的なデータをとっていないが、必要である。

【事務局】大人/子ども、団体/個人、有料/無料くらいか。

【委 員】それによって、どこをターゲットにするか協議するといい。

【委 員】糸魚川高校の方から広域農道でこちらに来る時に、こちらへ入る案内板がわかりにくい。

【事務局】広域農道に青い看板があったか。

【事務局】第5駐車場へ行くT字路にはない。

【事務局】先日お客さんから、上越方面から来るとカーナビでは広域農道を通るルートが示されるが、いくら進んでも案内看板がないので心配だった、というご意見をいただいた。リニューアルに合わせて、広域農道の他、道路全体にもっと案内が必要。中央大通りの上刈白馬線に看板を付けてもらっているが、まだ出来上がっていない。

【委 員】だんだんみんなカラフルになってしまっている。

【事務局】あまりカラフル過ぎてもいけない。ジオパークである程度統一的使用の看板を作っているが、それに合わせたほうがいい。日本語と英語の表記をする。

事務局から

【事務局】ふるさと展示室で11月17日まで、きれいな鉱物を中心とした特別展を開催中なので、お時間があればぜひご覧になっていただきたい。

6 閉会（15:14）

以上